

せいめい小委員会報告

2024年9月9日 せいめいUM

せいめい望遠鏡の共同利用・共同研究及び研究交流等に関する専門的事項について審議する

メンバー (敬称略 ※ 委員)

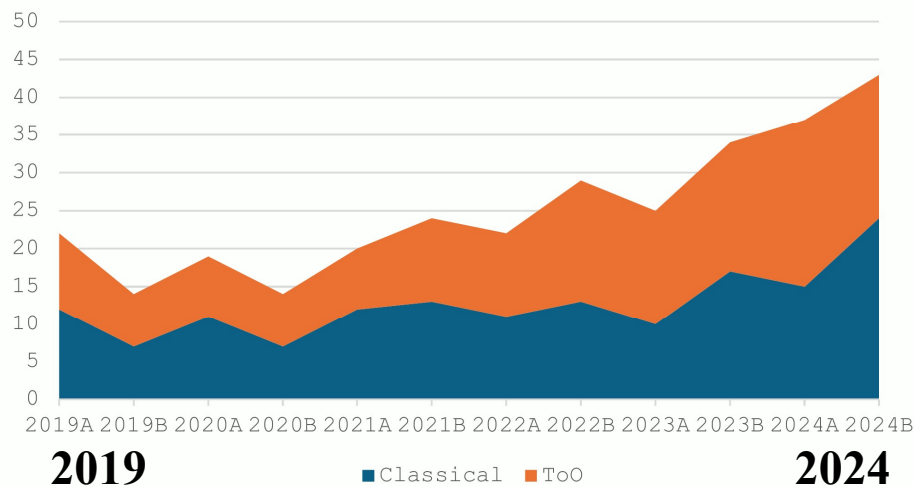
岩室史英(京大：委員長)※ 伊藤洋一(兵庫県立大)※ 小西美穂子(大分大)※ 志達めぐみ(愛媛大)※ 田中雅臣(東北大)※
鳥羽 儀樹(国立天文台)※ 太田耕司(京大) 田實晃人(国立天文台) 前原裕之(国立天文台) 泉浦秀行(国立天文台)

- 2023年10月3日
 - ・ 委員長の選出と引継ぎ事項（共同利用装置審査、補填観測、キュー観測、採択夜数配分など）の確認
 - ・ 2024Aの公募スケジュール確認
 - ・ プロポーザル審査委員の推薦
 - ・ TriCCS Long Slit 分光モード審査の進め方
- 2023年12月7日
 - ・ 2024A の共同利用はクラシカル15件(93.8夜)、ToO22件(内クラシカルを含むもの3件)(89.1夜)の応募があり、審査委員の採点を基にしてクラシカル13件(52.3夜)、ToO19件(44.5夜)を採択した。(GAOES-RV が公開されて応募夜数が飛躍的に伸びた)
 - ・ 現地での観測経験者が接続講習を受けた場合に限り、完全リモート観測を認めることとなった
2024/1-3月上旬までで約 1/3 が既にリモート観測となっている
- 2024年3月6日 (共同利用公開装置(新機能追加)審査)
 - ・ TriCCS Long Slit 分光モード (P.I. : 前田@京大) の共同利用公開審査
→ 2024Bより共同利用装置の新機能として公開することを認める
 - ・ 2024B (7~12月) Call for proposalの準備
 - ・ リスクシェアでスクリプト観測 (KOOLS, TriCCS 撮像モードのみ) を実施中
 - ・ 補填時間の配分や旅費の問題は、完全リモートを始めたことによりほぼ解決した
- 2024年6月17-25日
 - ・ 2024B の共同利用はクラシカル24件(169夜)、ToO19件(内クラシカルを含むもの2件)(71.35夜)の応募があり、審査委員の採点を基にしてクラシカル15件(51.5夜)、ToO18件(38.3夜)を採択した。

プロポーザル推移

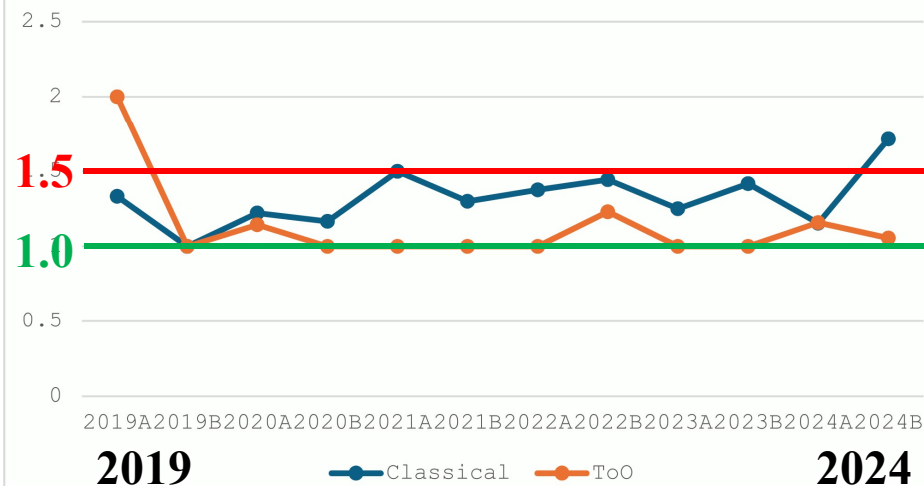
件数

submittd proposals



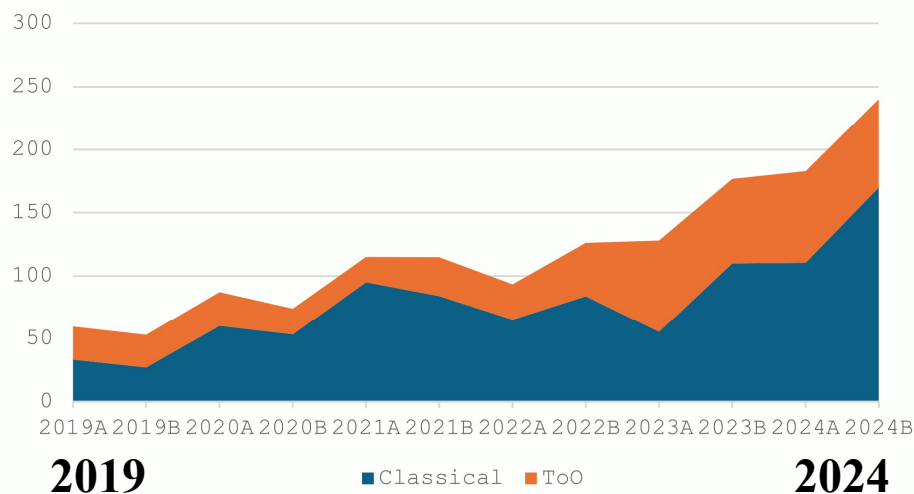
倍率

submitted/approved



夜数

requested nights



倍率

requested/awarded

